

# 平成32年度大学院説明会 (入学希望者向けガイダンス)



東京大学 大学院 医学系研究科  
公共健康医学専攻

2019年6月1日(土)15:00-17:30

東京大学大学院医学系研究科

公共健康医学専攻

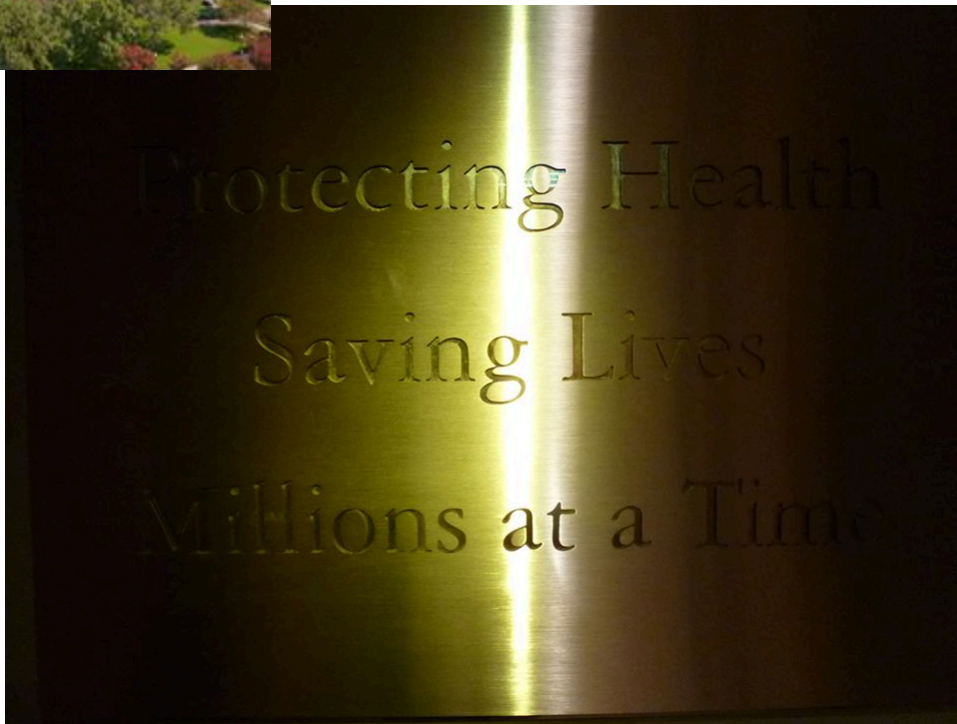
専攻長 橋本英樹

[hidehashimoto-circ@umin.ac.jp](mailto:hidehashimoto-circ@umin.ac.jp)

# 公衆衛生学とは

---

- “Public Health is the art and science of preventing disease, prolonging life and promoting physical and mental efficiency through the organized community efforts...” (組織された地域社会の努力を通して、疾病を予防し、生命を延長し、身体的、精神的機能の増進をはかる科学であり技術である)」 Winslow CEA *Science* 1920; 51(1306): 23-33.



“Protecting Health, Saving Lives, Millions at a Time” (健康を守り、命を救おう、たくさんの人を一度に)

米国Johns Hopkins公衆衛生大学院のホールのパネル

# 公共健康医学専攻の目的

---

本専攻は、国民や地域住民、患者も含めた広範な人々の健康の維持、増進、回復及び生活の質 (quality of life) の改善に寄与する最先端の研究を推進するとともに、公衆衛生領域で指導的及び実践的役割を果たす高度専門職業人を養成する。本課程の修了者には、公衆衛生学修士 (専門職) が授与される。

# 求める学生像

---

- 国民や地域住民、患者も含めた広範な人々の健康の維持、増進、回復及び生活の質 (quality of life) の改善に寄与する最先端研究を推進するとともに、公衆衛生領域で指導的及び実践的役割を果たす高度専門職業人として活躍できる人

研究・理論 × 実践力

# 公共健康医学専攻の特徴(歴史)

---

- ◆ 当該分野における東京大学の「強み」
- ◆ 日本最初の公衆衛生学講座  
1947(昭和22)年設置
- ◆ 日本最初の保健学の大学院  
1965(昭和40)年開設
- ◆ 大学院重点化  
1995(平成7)年 社会医学専攻  
1996(平成8)年 健康科学・看護学専攻
- ◆ 公衆衛生の専門職大学院(公衆衛生大学院)  
2007(平成19)年 設置

# 教員組織の特徴

---

- ◆ 専任教員(現員)21人(実務家教員6人を含む)  
+ 連携教員12人
- ◆ 疫学保健学系  
数量的分析、コミュニケーション手法
- ◆ 行動社会医学系  
行動科学、社会科学的方法論
- ◆ 医療科学系  
制度、システム、情報の応用
- ◆ 協力講座

私達の方針: 分野をまたぎ教員が1つとなって学生の教育に係わる

# 公共健康医学専攻 (School of Public Health)

公共健康医学専攻  
(専門職学位課程)

## 疫学保健学講座 (Epidemiology and Health Sciences)

生物統計学 (Biostatistics)

社会予防疫学 (Social and Preventive Epidemiology)

臨床疫学・経済学 (Health Economics and Epidemiology Research)

医療コミュニケーション学 (Health Communication)

がん疫学 Cancer Epidemiology

## 行動社会医学講座 (Behavioral Health Sciences)

精神保健学 (Mental Health)

健康教育・社会学 (Health Sociology and Health Education)

保健社会行動学 (Health and Social Behavior)

健康増進科学 (Health Promotion Science)

医療倫理学 (Biomedical Ethics)

保健医療人材育成学 Human Resource Development for Health

## 医療科学講座 (Health Services Sciences)

健康医療政策学 (Health Policy)

医療情報システム学 (Healthcare Informatics)

臨床情報工学 (Clinical Information Engineering)

法医学・医事法学 (Forensic Medicine and Medical Law)

保健医療科学 (Public Health Science)

国際環境保健学 (Global Environmental Health)

(協力講座) 疾患生命工学センター・健康環境医工学



# 東京大学医学部教育研究棟

(同棟13階にSPH講義室・学生控え室)



# 公共健康医学専攻の特徴(カリキュラム)

---

- ◆ 2年コースと1年コース(定員計30人)  
実務経験者向けの1年コース
- ◆ 多様な科目  
必修科目と選択科目の組合せ
- ◆ コースワーク・フィールドワークの重視  
講義・演習・実習の組合せ
- ◆ 課題研究(2年コース必修)  
教員による実務・研究指導

# 公共健康医学専攻の授業科目

---

◆ 必修科目 統計 「医学データの統計解析」

◆ 選択必修から5科目

疫学 「疫学研究と実践」か「医学研究のデザイン」

行動・社会科学 5教科から2科目選択

医療管理 「健康医療政策」「医療情報」いずれか

環境保健 「産業保健」「環境健康医学」いずれか

上記6科目(計11単位)を指定

□ 課題研究(2年コースは必須)

# 公共健康医学専攻の授業科目(つづき)

---

◆ 選択科目(必修科目を含め30単位以上取得)

臨床疫学、臨床医学概論

日本の医療と地域保健(英語)

社会と健康 I・II

合併科目:国際保健政策学特論 I・II(英語)

インターンシップ(夏、春)

など、多様な授業科目を用意

他専攻・他研究科の科目は合計で8単位まで

(※1年間の単位取得上限50単位)

# 2019(平成31)年度スケジュール

---

- ◆ 4月 入学オリエンテーション、S1授業開始
- ◆ (6月1日大学院説明会、博士課程含む)
- ◆ 6~7月 研究室配属説明会、配属先決定
- ◆ (8月19日筆記試験 22日口述試験)
- ◆ 8~9月 夏季休業期間(集中授業等)
- ◆ 9月 A1授業開始
- ◆ (10月 日本公衆衛生学会ブース出展)
- ◆ 12月 課題研究論文提出締切、プレゼンテーション講習会
- ◆ 1月 課題研究発表会
- ◆ 1-2月 キャリアデザイン懇談会？
- ◆ 2月 A2授業終了
- ◆ 3月 SPHフォーラム、学位授与式

# 平成31年度公共健康医学専攻・授業予定表

S1	S2	夏季休業	A1	A2	W
4/5～6/4	6/5～7/31	8/1～9/18	9/24～11/15	11/18～1/24	1/27～
健康危機管理学 法医学・医事法学 公共健康医学特論 保健医療人材育成学 医療コミュニケーション学 保健医療経済学 臨床医学概論 医学データの統計解析 医療倫理学Ⅰ 医療情報システム学	環境健康医学 Health Care and Community Health in Japan 医学研究のデザイン 臨床疫学 医療コミュニケーション学演習 医療情報システム学実習 医学統計学演習 医療倫理学Ⅱ 公共健康情報学	インターン シップ、課 題研究など  (集中講 義) 予防保 健の実践と 評価保健行 政・健康危 機管理学実 習	環境健康医学方法論 学習者評価学 産業保健の理論と実 践 医学研究とCDISC標 準 がん疫学 社会と健康Ⅰ 健康社会学 公共健康情報学実習	医療技術評価 学演習 健康教育学 社会と健康Ⅱ	インター ンシップ、 課題研 究など
法医学・医事法学 精神保健学Ⅰ 疫学研究と実践			健康医療政策学 精神保健学Ⅱ 臨床疫学・経済学演習		

他、他専攻合併科目(社会保障政策学、国際保健政策学Ⅰ, Ⅱ) + 医療経営学。

# 課題研究(2年コース必修)

---

- ◆ 研究内容による分類(学生の自己申告)
- ◆ 区分: 原著、公衆衛生活動報告、システム開発、文献レビュー、その他
- ◆ 評価基準(以下の基準を総合して評価)
  1. テーマの新規性・独創性・実用性・有用性
  2. 論理的(科学的)な思考能力
  3. 方法(アプローチ)の妥当性
  4. 結論のimplication・テーマの発展性
  5. プレゼンテーション・質疑応答能力
  6. 本人の貢献度
  7. 文章・図表の完成度

# 課題研究のテーマの実例(2018年度)

---

- わが国における出生年別にみたHBVおよびHCV感染保有率の推計
- アトルバスタチン治療によるLDLコレステロール低下作用と抗炎症作用を介した循環器系疾患および糖尿病関連イベント抑制効果
- 労働時間種別による病院勤務医の夜間休日労働の勤務意欲にもたらす影響の検討
- ストレスチェック受検時の労働者の回答の信憑性とこれに関連する要因
- 乳腺濃度を考慮した乳癌検診の費用対効果分析
- 子どもに歯磨きを促す絵本の内容分析
- 頭痛問診情報を対話型で収集するシステムの開発に関する研究
- 嚙下リハビリテーション支援を目的としたVRアプリケーションの開発・評価



# 海外公衆衛生大学院との交流

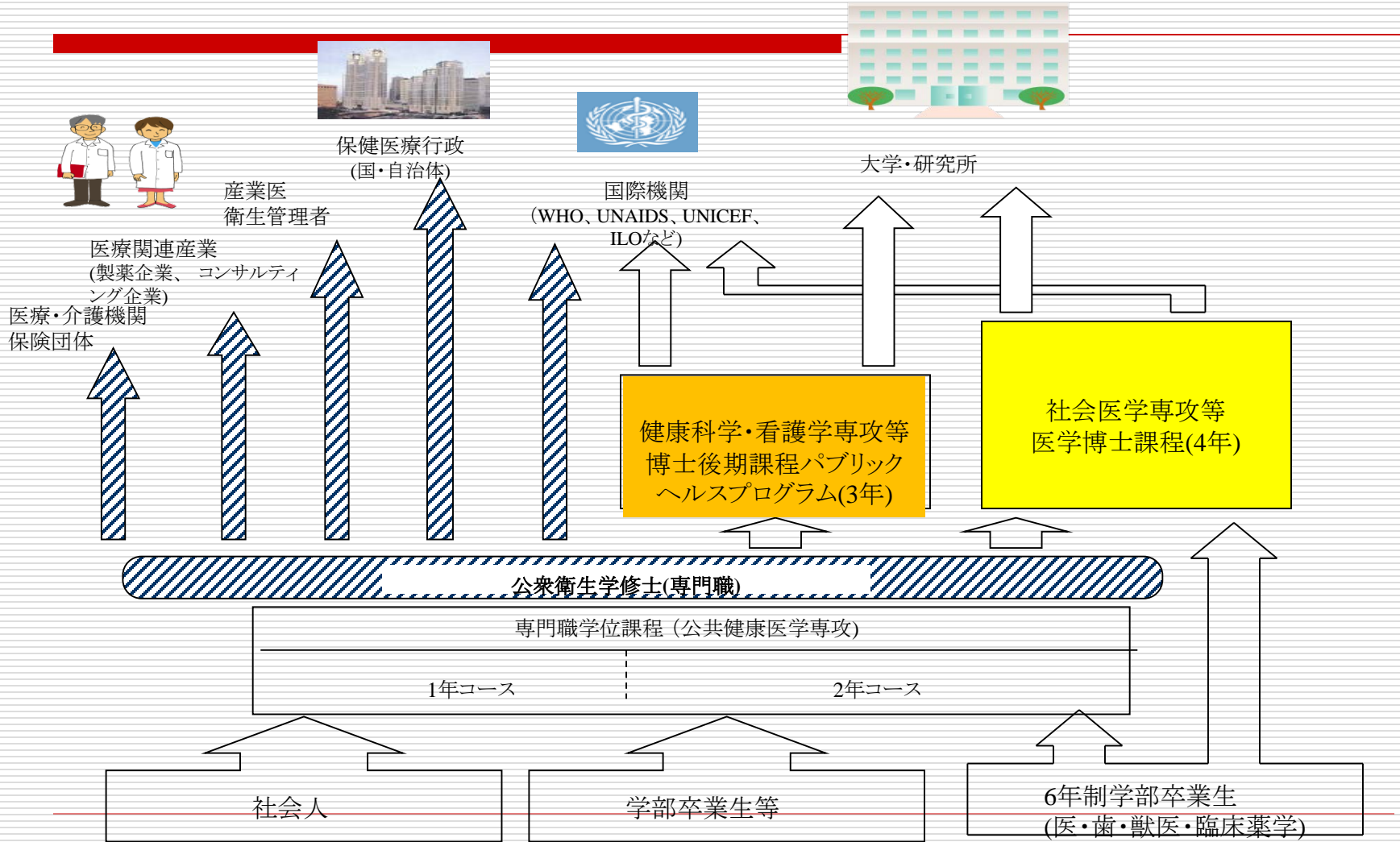
---

- ◆ ソウル大学
  - ◆ 北京大学
  - ◆ ハーバード大学
  - ◆ ハワイ大学
  - ◆ 国立台湾大学、台北医科大学
  - ◆ ユニバーシティカレッジオブロンドン
  - ◆ ロンドン大学衛生熱帯医学大学院
- 国際共同研究: 12カ国、25のプロジェクト
- 



PeSeTo公衆衛生大学院  
会議・シンポジウム  
(2008, 2009, 2011,  
2013, 2014, 2016年)

# 修了後の進路



# 修了者の進路

---

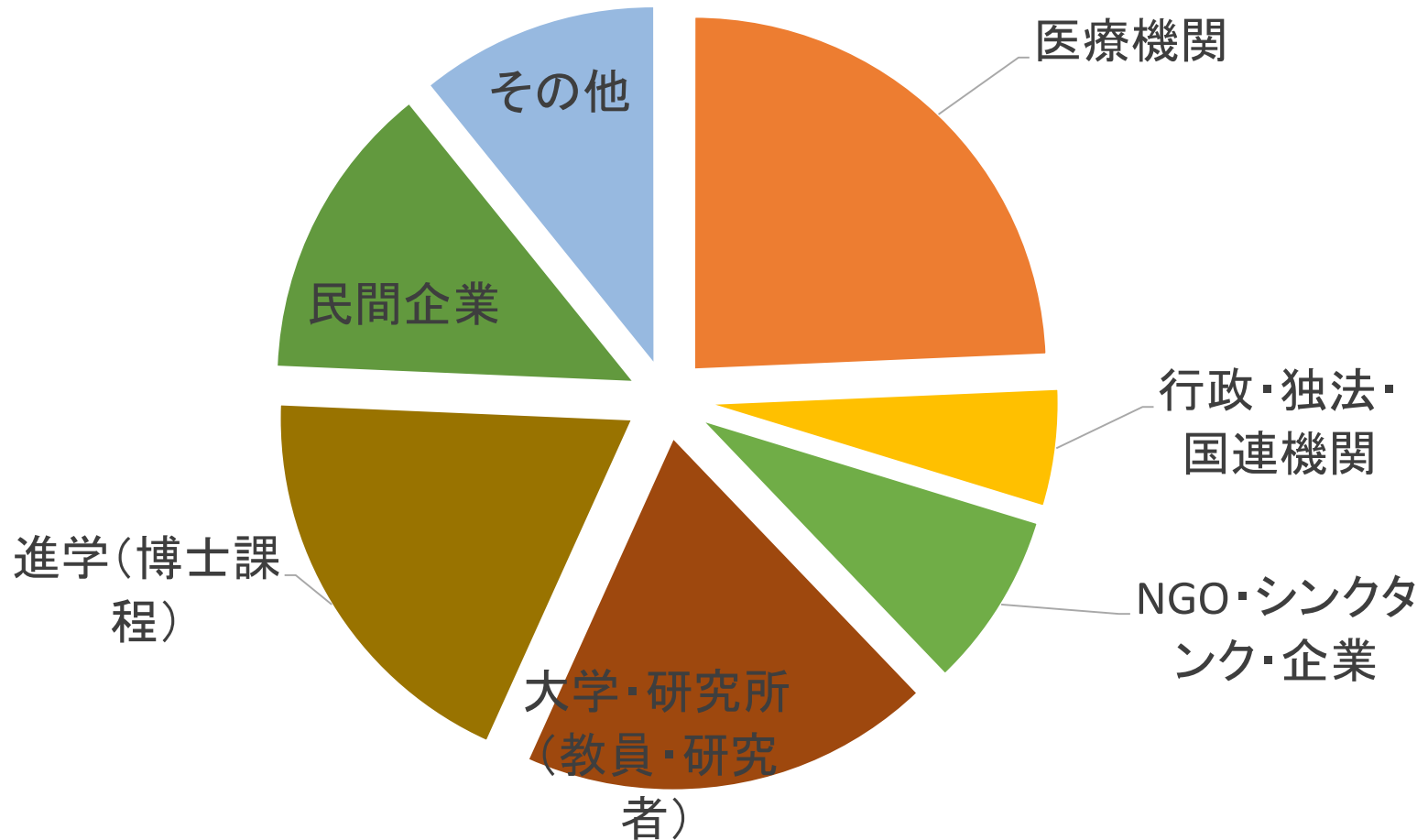
## 高度専門職業人として

- ◆ 公衆衛生行政、国際機関など
- ◆ 臨床研究・EBM、臨床試験の専門家
- ◆ 民間シンクタンク、NGO等の専門家
- ◆ 病院の医療経営・情報システムの専門家

## 研究者として

- ◆ 博士課程進学、教育研究機関など

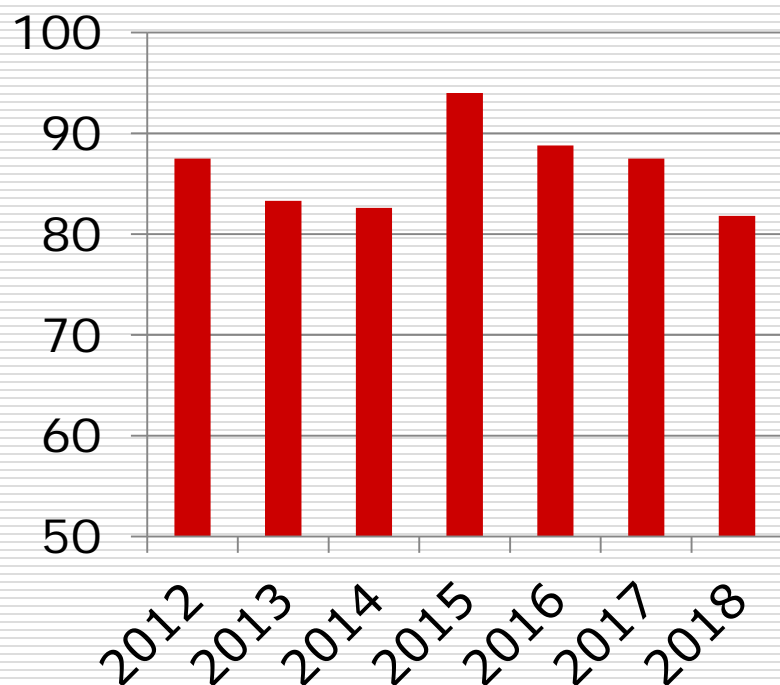
# 修了時の進路(%)



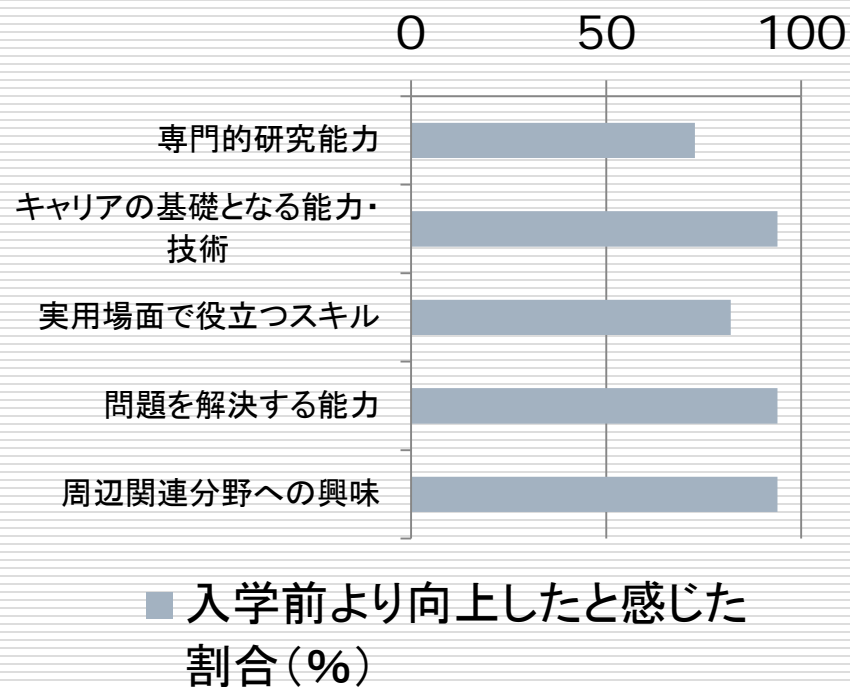
2018年度修了生

# 修了生による教育の評価

高い修了時満足度：もう一度、入学前の状態に戻り、大学院に進学するとしたら 第1希望で志望する(%)



修了後の専門知識の必要度と習得率(2018年全修了生調査へ回答)



知識の習得だけでなく、「知識を使う」公衆衛生コンピテンシーを重視

# 東京大学公共健康医学専攻のHP (専攻HP) (同窓会HP)

The screenshot shows the homepage of the U-Tokyo SPH website. At the top left is the logo and the text "東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻". Navigation links include "専攻概要", "分野・教員紹介", "カリキュラム", "入試情報", "リンク", and "ENGLISH". A large banner features a building image and the text "パブリックヘルスマインドを持った 公衆衛生リーダーの育成". Below this is a "LATEST NEWS" section with a grid of news items, each with a date and a small image. A "VIEW MORE" button is at the bottom.

The screenshot shows the header of the U-Tokyo SPH Alumni website. It features a navigation bar with links: "ホーム", "東京大学SPHとは", "東京大学SPH同窓会について", "2017年度同窓会役員", "修了生の紹介", "同窓会総会のご案内", "同窓会サロン", and "公衆衛生系大学院リンク". Below the navigation is a banner for the "10th Anniversary of U-Tokyo SPH Alumni" with the logo.

(最終更新2018年3月5日)

このサイトは、東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻（東京大学SPH）の同窓会公式サイトです。

- New!2018年新年会を開催しました
- New!第11回同窓会総会を開催しました
- New!第11回SPHサロンを開催しました

東京大学SPH同窓会公式Facebookはこちら

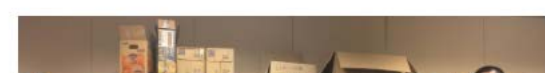
東京大学SPHは、2007年に開講された日本で3番目の公衆衛生大学院です。2014年3月までに公衆衛生学修士（専門職）として186名が学位を受け、厚生労働省や保健所といった公衆衛生専門機関をはじめ、大学・研究所や医療機関、民間企業など幅広い分野で活躍しています。

東京大学SPH紹介動画はこちら

東京大学SPH 同窓会は1期生が卒業した2008年3月に設立され、修了生同士の交流や現役学生との意見交換、他大学や海外のSPH学生・OB、これから公衆衛生大学院で学びたい方々との交流促進などを実施しています。

同窓会理事会メンバー(2018年2月7日)

The sidebar contains a "最近の投稿" section with a list of recent posts, a search bar labeled "検索...", and a "メタ情報" section with links for "ログイン", "投稿のRSS", "コメントのRSS", and "WordPress.org".



# 入試試験科目の変更について(平成30年度入試から)

---

- 「健康科学・社会医学一般」を廃して、「公共健康医学基礎」を新設。公衆衛生学についての基礎的な問題(択一式20問)を出題。
- 「専門分野」(論述問題)から選択4問を回答。
- 「小論文」を1, 2年コース志望者いずれも必須に。
- 「統計学一般」変更なし
- 以上は専攻HPでも周知。

# 公共健康医学専攻と関連した博士課程

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

東京大学大学院医学系研究科  
健康科学・看護学専攻

大学院生募集

● 入試説明会 ● 研究分野

願書受付: 平成32年1月6~8日

入学試験: 平成32年1月29日、2月3日

13:00~15:00 全体説明会  
15:00~17:00 各分野個別説明会

※本説明会は増設系分野が対象です。  
パブリックヘルスプログラム(博士後期課程)  
を検討されている場合は、公共健康医学専攻の  
説明会にご出席ください。

※15:00以降にお越しの際は、  
直接、各教室にお越しください

問合せ先: 東京大学大学院医学系研究科 TEL.03-5841-3309 <http://www.mu-tokyo.ac.jp/>

保健師免許または助産師免許の取得を修士課程で目指すコースもあります

東京大学大学院医学系研究科  
社会医学専攻  
医学博士課程 入試説明会

2020年度入学希望者向け社会医学専攻医学博士課程の入試説明会を開催いたします。  
ご関心のある方は、この機会にご参加ください。

日時: 2019年6月1日(土)13時~14時半  
場所: 東京大学医学部教育研究棟14F鉄門記念講堂

専攻及び各分野の簡単な紹介と説明の後、個別に質疑応答を行います。

社会医学専攻の紹介	大江 和彦(専攻長)
各分野の紹介	
衛生学	石川 俊平
公衆衛生学分野	小林 廉毅
法医学分野	岩瀬 博太郎
医療情報学分野	大江 和彦
健康環境医学分野	村上 誠
医療コミュニケーション学分野	木内 貴弘
臨床情報学分野	小山 博史
臨床疫学・経済学分野	康永 秀生
社会予防疫学分野	佐々木 敏
精神保健学分野	川上 憲人
保健社会行動学分野	橋本 英樹・近藤尚己
医療倫理学分野	赤林 朗
がん政策科学分野(連携)	東 尚弘
がん疫学分野(連携)	井上 真奈美
がんコミュニケーション学分野(連携)	高山 智子

願書受付: 平成30年7月16~24日

入学試験: 平成30年10月17~18日





# 健康科学・看護学専攻(博士後期課程) パブリックヘルスプログラムとは

---

- 健康科学・看護学専攻(博士後期課程)において、公衆衛生関連領域の教育・研究に関連の深い健康科学講座が1つになり、**パブリックヘルスプログラム**を立ち上げた。
- 公衆衛生に関する教育研究を、修士課程(専門職)から博士後期課程までシームレスに行うことを目的とする。

# パブリックヘルスプログラムへの 入学が想定される者

---

- 公衆衛生学修士課程修了者
  - 本学医学系研究科公共健康医学専攻(専門職学位課程)
  - 他学公衆衛生大学院専門職修士・修士課程修了者
- その他の修士課程修了者
  - 本学、他学を問わず
- 修士号取得済みの社会人経験者

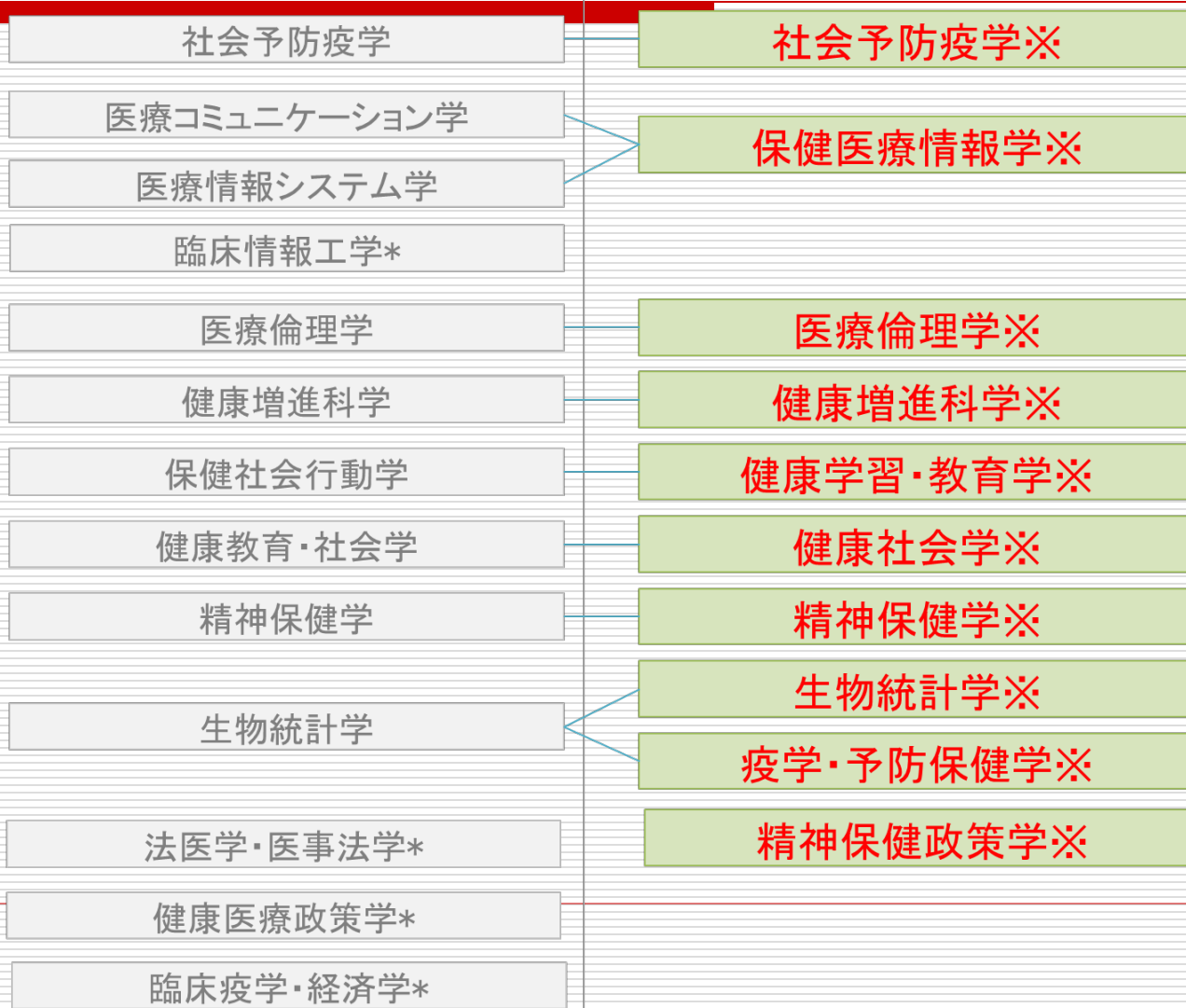
# 健康科学・看護学専攻(博士後期課程) パブリックヘルスプログラムの組織

〈 専門職学位課程 〉

※パブリックヘルスプログラム

公共健康医学専攻

\*博士後期課程は社会医学専攻



協力講座

健康科学講座

# パブリックヘルスプログラム各分野の概要(1)

分野名	教員	研究内容
社会予防疫学	佐々木敏教授	栄養疫学、公衆栄養学、社会予防疫学
保健医療情報学	大江和彦教授	医学知識ベース、病院情報システム、電子カルテ
医療コミュニケーション学	木内貴弘教授	ヘルスコミュニケーション、メディアコミュニケーション
医療倫理学	赤林 朗 瀧本禎之	生命・医療倫理学全般(様々な人文・社会科学的方法論を用いる)、臨床倫理、研究倫理、看護倫理、保健・医療行政、保健・医療経済 医療倫理学、臨床倫理、臨床倫理コンサルテーション、意思決定プロセス
健康増進科学	—	(募集なし)

# パブリックヘルスプログラム各分野の概要(2)

分野名	教員	研究内容
健康学習・教育学	橋本英樹教授	社会・経済・文化的要因と健康との関連に関する社会行動学的研究を広く含む
健康社会学	近藤尚己准教授	健康の社会的決定要因に関する疫学研究
精神保健学	川上憲人教授 西 大輔准教授	地域における精神障害の疫学、職場のメンタルヘルス、災害・国際精神保健うつ病・PTSD の予防、栄養精神医学、レジリエンス、外傷後成長
生物統計学	松山 裕教授	生物統計学、医学研究の計画と医学データ解析、臨床試験の方法
疫学・予防保健学	松山 裕教授 (兼) 大庭幸治准教授	疫学、疫学研究の計画と解析、理論疫学 疫学、疫学研究の計画と解析、メタ・アナリシス
精神保健政策学 (連携講座)	金吉晴連携教授	心理的トラウマ、災害精神保健、疫学、バイオマーカー、支援制度、政策、治療

# パブリックヘルスプログラム 博士(保健学)取得修了後の進路

---

- 選択する分野によって異なる。
    - 多くは、大学(教員、研究員)
    - 国公立研究所、民間研究機関
    - 医療機関
    - 国際機関(国連、世銀)
    - 民間企業(製薬企業、シンクタンク)
    - NPO/NGO
-